

第二表 縦線選穀器使用試験成績 (第二次試験)

名稱	期日	天候	線間						漏斗ノ開度	線面傾斜角度	所要人員	所要時間	供試重量	每時効程
			上	中	右	左	中	右						
野田	四月二日	晴	7.6	6.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	
更田	四月二日	晴	7.6	6.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	
福生	四月二日	晴	7.6	6.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	
ケオ	四月二日	晴	7.6	6.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	
同	四月二日	晴	7.6	6.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	
同	四月二日	晴	7.6	6.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	
同	四月二日	晴	7.6	6.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	
同	四月二日	晴	7.6	6.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	
同	四月二日	晴	7.6	6.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	
同	四月二日	晴	7.6	6.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	

五 鑑定試験ノ結果

鑑定試験ノ結果適當ナリト認メタル縦線選穀器 (申込者ノいろは順)

名稱	住	所	氏名
ケーオー立線米選機一號型	香川縣三豊郡上高野村一八		上森農機商會
福利號縦線米選機	神戸市林田區千歲町四丁目一		日本農機製造株式會社
更生號米選機	久留米市明治通三丁目一〇七		東洋農機株式會社九州支店
サトウ式米選機	鳥根縣八東郡掛屋町六六七ノ一		株式會社佐藤商會
サトウ式スビー米選機	岡山市山下元町三丁目二四		佐藤庄次郎
三德平面選穀機	兵庫縣掛保郡神部村四八ノ二		株式會社三德萬石製造所
三德三段選穀機	同		同
シバタ式大黒印米選機(千鳥)	兵庫縣赤穂郡上郡町二三六		株式會社柴田商會
同(平面)	同		同
伸和式米選機(一)	神戸市神戸區三宮一丁目六		和田商店機械部
伸和式米選機(二)	同		同

## 六 出品物ニ對スル概評

二七四

### 野田式立線米選機

本器ハ全高九四種(三尺一寸)、幅六三種(二尺一寸)、重量二三・四疋(六貫餘)ニシテ有效線面ハ長サ六八種、幅四五種ニシテ稍廣ク漏斗及器脚以外ハ殆ド鐵製ニシテ線面ノ上下兩端ニ一定間隔ニ凹ミヲ有スル扁平ノ鐵製配線桿アリ。縱線間隔ノ調節ハ此ノ配線桿ヲ交換シテ行フ。而シテ所定ノ配線桿ニヨル以外ハ調節不能ナリ。又桿ノ凹ミ齊一ナラズ。線間隔ノ斑稍多シ。縱線ニハ鋼鐵二〇番線ヲ用ヒタリ。又縱線ハ全面ヲ數本ニテ張り緊張度ノ均衡上ヨリ見テ合理的ト認メラレ斷線モ少ナカル可ク、若シ斷線セル場合ニアリテモ修理比較的ニ容易ナリ。然レ共漏斗ハ閉閉圓滑ナラズ取扱不便ナリ。尙實地使用ノ成績ハ佳良ナラズ。特ニ線間隔ヲ均一トシ調節方法ヲ容易ナラシムルノ要アリ。

### ケーオー式立線米選機

本器ハ全高一〇四種(三尺四寸)、幅六二種(二尺)、全重量二七・二疋(七貫餘)アリ。有效線面ハ長サ七〇・五種、幅四六・五種ニシテ稍廣ク器體ノ構造堅牢ナルモ器脚稍不安定ナル嫌アリ。縱線間隔調節法ハ千鳥型ニシテ上下兩端ノ配線軸ニヨリ調節ス。配線軸ハ丸鐵棒ニ一定深サノ溝ヲ一溝置キニ一定ノ距離丈ズラシテ切りタルモノニシテ軸ヲ廻轉セバ溝ノ「ズレ」ニヨリ線ハ一本置キニ押上グラレテ千鳥型トナルモノナリ。而シテ線間隔ハ概シテ廣ク斑稍多シ。縱線ノ張り方ハ二本ヲ一組トシ上端ニ於テ夫々絡メテ緊締セルモノニシテ斷線ノ場合ハ張り換ヘニ技術ヲ要ス。實地使用ノ成績普通ナリ。福利號縱線米選機

本器ハ全高一〇二種(三尺四寸)、幅六〇種(二尺)、全重量二六・二疋(約七貫)ニシテ有效線面ハ長サ六四種、幅四三種ナリ。材料不可ナラズ。構造堅牢ナルモ桿稍大ナル感アリ。縱線間隔調節方法ハ千鳥型ニシテ上下兩端ノ配線軸ニヨリ調

節ス。配線軸ハ鐵製四角棒ノ一面ニ一定ノ間隔ニ平ノ淺キ溝ト、一方ヲ稍深クナシタル傾斜溝トヲ交互ニ切り、各溝ニ一本宛配線シタルモノニシテ軸ヲ廻轉セバ一線置キニ押上グラレ千鳥型トナル。線ノ張り方ハ二本ヲ一組トシ上部ニ於テ緊締セルモノニシテ斷線ノ場合ハ張り換ヘニ熟練ヲ要スルガ如シ。尙漏斗ハ折疊式ニシテ運搬ニ便ナレ共固定稍不安定ナル感アリ改善ヲ要ス。實地使用ノ成績ハ普通ナリ。

### 更生號米選機

本器ハ全高九〇種(約三尺)、幅五五種(一尺八寸餘)、全重量二九・五疋(約八貫)ニシテ器體ノ構造堅牢ナリ。有效線面ハ長サ七〇種、幅三九種トス。縱線ノ間隔調節方法ハ千鳥型ニ屬シ、配線軸ハ丸鐵棒ニ一定ノ深サノ溝ヲ一溝置キニ一定距離ダケズラシテ切りタルモノニシテ溝ノ「ピッチ」ニ多少ノ斑ナキニアラザレ共、概シテ線間隔ノ誤差少シ。縱線ニハ鋼鐵二〇番線ヲ用ヒ、線ノ張り方ハ、二本一組トシテ下部ニ於テ先端ヲ釣針狀ニ折り曲ゲ固定ス。而シテ各部ノ構造殆ド柴田式(千鳥)ト同一ト認メラル。

尙使用ニ際シテ米粒狹マリ易キモ選別成績概シテ普通ナリ。

### サトー式米選機

本器ハ全高九八種(三尺二寸)、幅六一種(二尺)、全重量三一・〇疋(八・二貫)ニシテ器體ノ構造堅牢ナリ。縱線間隔調節方法ハ平面型ニ屬シ、配線軸ハ丸鐵棒ニ螺旋狀ノ溝ヲ切り、六條ヲ一組トシ一面ヨリ反對面ニ向フニ從ヒ、間隔ヲ徐々ニ擴ゲタルモノニシテ線面ノ上下兩端ニ裝置ス。各溝ニ一本宛縱線ヲ配置シ軸ヲ一方ニ廻轉セバ線ハ六本ヲ一組ニ中央ヲ基準トシテ左右ニ移動シ、五目毎ニ一目宛ノ細目ヲ生ズ。配線軸ノ溝ノ間隔ニ斑著シキモノアルヲ以テ、工作上特ニ注意ヲ要ス。縱線ハ鋼鐵二〇番線ニシテ線ノ張り方ハ二本ヲ一組トシ、一定長サニ切斷シ、中央ニテ折り、折目ノ上端ヲ小突起ニ掛ケ、下端ハ「コ」字狀ニ折り返シ裏面ヨリ鐵板ヲ以テ締メツケタリ。而シテ斷線ノ虞アルガ如キモ、線ノ取換簡便

二七五

ナリ。實地使用ノ成績普通ナリ。

### サトウ式スビー米選機

本器ハ全高一・二種(三尺七寸)、幅六五・三種(二尺一寸餘)、全重量三五・二疋(約九・四貫)ニシテ大型ニ屬シ有效線面ノ長サ八五種、幅四八・三種アリ。漏斗ハ折疊式ナルモ構造堅牢ヲ缺ク嫌アリ注意ヲ要ス。線間調節法ハ千鳥型ニシテ配線軸ハ鐵製四角溝ニ淺キ平溝ト一方ニ傾斜セシメタル深キ溝トヲ交互ニ切りタルモノニシテ上下兩端ニ裝置ス。配線溝ハ比較的均齊ニシテ線間隔ノ誤差少シ。縦線ハ二〇番鋼鐵線ニテ其ノ張り方ハ二本ヲ一組トシ上部ニ於テ緊締セルモノニシテ斷線ノ虞少キモ線ノ取替ニハ相當ノ熟練ヲ要スベク特ニ改善ヲ望ム。

實地使用ノ選別結果ハ優良ナリ。

### 三德平面選穀機

本器ハ全高八八種(二尺九寸)、幅五八種(一尺九寸餘)、全重量二九・三疋(七・八貫)アリ。有效線面ハ長サ六七種、幅三八種ニシテ器體ハ構造堅牢ナリ。線間調節法ハ平面型ニ屬シ、線面ノ上下兩端ニ設ケタル配線軸ニ依リ調節ス。配線軸ハ丸鐵棒ニ二條ノ方向相反スル螺旋狀ノ溝ヲ切り一定點ニ於テ交叉セシメタルモノニシテ「ビツチ」ノ誤差少ク、配線斑少シ。縦線ヲ螺旋ノ溝中ニ裝置シ、軸ヲ廻轉セバ、線ハ螺旋ノ溝ニ沿ヒテ移動シ、縦線間隔ハ開閉ス。而シテ線間隔ハ一線置ニ廣狹二様トナリ、選別ハ主トシテ廣キ方ニ於テ行ハレ、狹キ方ニ於テハ極ク小サキ靴ノ落下スルニ過ギズ。而シテ理論上ヨリ考察セバ細キ目ノ多キ選穀器ト考ヘラレ完全ナル選別困難ナリ。次ニ縦線ノ張り方ハ、二本一組トシ一定ノ長サニ切りタル線ヲ中央ヨリ折り、下端ノ穴ニ通シテ上部ニ於テ配線板ヲ凹字狀ニ縫ヒ上側ヨリ鐵片ヲ以テ押シ付ケタリ。此ノ方法ハ斷線ノ虞レ少ク、張り換ヘモ困難ナラズ。實地使用ノ選別成績ハ稍良好ナリト認ム。

### 三德三段選穀機

本器ハ三德平面選穀機ト主要寸法異ラズ。器體ノ構造堅牢ナリ。有效線面ノ長サハ六七種ニシテ普通ナレ共、幅ハ上下異リ上部三八・二種、下部四〇・六種ニシテ下部ハ上部ニ比シ約六%廣ク、又線面下ノ屑米出口ヲ上中部(極屑米)ト下部(中米)トニ區分セリ。一般ニ米選機使用ニ當リ線間隔ヲ上部ニ比シ、下部ヲ稍廣クスルハ適切ナリト認ムルモ、其ノ開キハ五%内外ナルガ如ク、從ツテ此ノ程度ノ調節ハ配線軸ニ依リ充分達シ得ラルルヲ以テ、本器ノ如ク特ニ構造上、末廣トスル必要少キガ如シ。

尙屑米ヲ上下二種ニ區分スルコトハ屑米ノ利用上ヨリ見テ相當ノ效果アリト認メラル。其ノ他縦線間隔調節方法線ノ張り方等三德平面選穀機ニ於ケルト同様ナルヲ以テ省略ス。而シテ實地使用ノ結果、選別成績ハ普通ナリ。

### 柴田式大黒印米選機(平面)

本器ハ全高九一種(三尺)、幅五五種(一尺八寸餘)、全重量三一・三疋(八貫餘)アリ。有效線面ハ長サ五八種、幅三九種ニシテ大サ中庸ナリ。器體ノ構造ハ堅牢ニシテ縦線間隔調節法ハ平面型ト千鳥型ノ中間ニ屬シ、上下兩端ニ於テ調節ス。配線軸ハ丸鐵棒ニ二軸ニ對シ斜ニ溝ヲ切りタルモノニシテ深サ及ビ「ビツチ」等ニ多少ノ斑アリ。一ツノ溝ニ上線ト下線ト二本ノ線ヲ配シ下線ハ完全ニ溝ノ中ニ入り得ルモ、上線ハ其ノ上側ニアリ。軸ヲ廻轉セバ下線ハ溝ニ入り多少左右ニ移動シ上線ハ其ノ儘溝外ニアリ。配線ハ千鳥型トナル。場合ニヨリ上線ガ左右ニ片寄り線間隔ニ斑ヲ生ズルコトアルヲ以テ更ニ研究改善ヲ要ス。縦線ノ張り方ハ二本ヲ一組トシタル下部緊締法ニシテ千鳥型ノ場合ト異ラズ。實地使用ノ結果ヲ見ルニ選別成績普通ナリ。

### 柴田式大黒印米選機(千鳥型)

本器ハ高サ九一種(三尺)、幅五六種(一尺八寸餘)、全重量二九・四疋(七・八貫餘)ニシテ形狀普通ナリ。器體ノ構造堅牢ニシテ有效線面ハ長サ六三種、幅三九種アリ。縦線ノ間隔調節法ハ千鳥型ニ屬ス。配線軸ハ丸鐵棒ニ一定ノ深サノ平行

セル溝ヲ切り一溝置キニ更ニ一定距離丈「ズラシ」タルモノニシテ溝ノ「ピッチ」均一ナラザル爲メ線間隔ニ多少ノ誤差アリ。工作上注意ヲ要ス。縦線ハ二〇番鋼鐵線ヲ用ヒ線ノ張り方ハ二本一組トシ、一定長サニ截リ中央ニテ二ツ折トシ上端ノ釘ニ掛ケ下端ハ一定點ニ於テ釣針狀ニ折リ曲ゲ緊締セルモノニシテ線ノ取り換へ容易ナルガ如シ。材料工作普通ナリ。實地使用ニ際シ線間ニ米粒ノ挟マリ易キ傾キアルモ選別成績普通ナリ。

伸和式米選機(一)

本器ハ高サ九四種(約三尺一寸)、幅五四種(一尺八寸)、全重量二二・四疋(約五・四貫)ニシテ稍小型ナルモ器體ハ構造堅牢ナリ。有效線面ハ長サ六三種、幅三九種ニシテ縦線間隔調節法ハ千鳥型ニ屬シ、配線軸ハ鐵製四角溝ノ狭キ一面ニ淺キ溝ト一方ヲ稍深クシタル傾斜溝トヲ交互ニ一定間隔ニ切りタルモノニシテ各溝ニ縦線ヲ配シ軸ヲ廻轉セバ一線置ニ押シ上ゲラレ千鳥型トナル。次ニ線ノ張り方ハ二本ヲ一組トシ、上部ヲ釘ニ掛ケ下端ヲ釣針狀ニ折リ曲ゲ緊締ス。用線ハ二一番鋼鐵線トス。線面上側ニ覆板ヲ付シ縦線ヲ保護シタルハ適切ナリト認メラル。實地使用ノ結果選別成績良好ナリト認ム。

伸和式米選機(二)

本器ハ器體ノ大サ重量間隔調節方法縦線ノ張り方等前者ト殆ド異ルトコロナク、只縦線ノ太サ稍太ク二〇番線ヲ使用セル點異ルニ過ギズ。實地使用ノ結果選別成績ハ前者ト殆ド異ラズ。

中耕除草器  
葉打機  
製莖機  
製繩上機  
製繩切機

鑑定試驗成績

熊本縣立農事試驗場

第一 中耕除草器鑑定試験成績

一 出 品 物

名 稱	價 格 (工場渡し)	住 所	氏 名
ミノル式大王印中耕除草器	二二〇	熊本市花畑町八一	岩倉代次郎
明王印中耕除草器	一八〇	熊本市北千反畑町一五	岩倉賢次郎
松本式中耕除草器一本柄型	二〇〇	佐賀縣筑前古賀驛前八三八	松本旭工場
富 國 式 除 草 器	二〇〇	福島縣岩瀨郡須賀川町	富 國 社 製 作 所
腕 金 貨 印 除 草 器	二二〇	米子市愛宕町四六	大正農工具株式會社
本庄式作樂號除草器	二二〇	東京市葛飾區堀切町八二	本 庄 商 會
特許高北式コニカル除草器大型	三〇〇	三重縣名賀郡名張町元町	高北農具製作所
ハラムネ式山口號中耕除草器	二〇〇	山口市荒高町六一	原 田 宗 一
九州號人力用除草器	一八五	佐賀縣三養基郡基里村	原 田 商 會
眞部式伸縮自由除草器	—	香川縣木田郡井戸村六一	眞 部 久 吉
中川式除草専用器	—	京都府熊野郡上佐濃村	中 川 雅 雄

二 供 試 圃 場

土壤〔硬軟ノ程度〕  
 粘質植土  
 五寸  
 重粘ナレドモ除草器ニ對スル抵抗中ト認ム

雜草繁茂狀態  
 少シ

灌溉水ノ程度  
 普通深サ五分乃至一寸位ナレドモ試驗中ハ淺水トナシタリ

糞糶類綠肥等ノ施用程度  
 施用セズ

稻ノ生育狀態  
 佳良

稻株ノ畦幅、株間  
 九寸、五寸

坪當株數  
 八十株

一株本數  
 十一本

### 三 試驗方法

豫メ供試人夫ヲシテ供試各器ニ就キ十分練習セシメタル後晴天ヲ選ビ實地使用試驗ヲ舉行セリ。

供試圃場  
 熊本縣立農事試驗場原種圃

供試面積  
 一器ニ付キ各田一畝歩宛

供試人夫  
 男年齡四五歳一人、女年齡二〇歳一人  
 男女共ニ普通

供試人夫熟練程度  
 一番除草、二番除草男女各二回

試驗回数  
 一番除草、昭和十年七月二十三、四、五ノ三日間

試驗期日  
 二番除草、昭和十年八月一、二、三ノ三日間

供試器ノ使用方法竝ニ調節  
 豫備試驗ノ結果最良ト認メタル方法竝ニ調節ニテ行ヘリ

### 四 試驗成績

使用試驗ノ成績左ノ如シ

名稱	使用方法	何草別番	中耕除草ノ方向	中耕良否	反轉良否	除草良否	埋草良否	安定度	稻株損傷程度	ノ使用中	使用難易	使用者	所要時間
ミノル式	正面押	番	縦一方	良	良	良	良	良	ナシ	輕中	易	男女	10分
明同同同	王印	番	番	良	良	良	良	良	ナシ	輕中	易	男女	10分
同同同同	松同同	番	番	良	良	良	良	良	ナシ	輕中	易	男女	10分
同同同同	本式	番	番	良	良	良	良	良	ナシ	輕中	易	男女	10分
同同同同	國式	番	番	良	良	良	良	良	ナシ	輕中	易	男女	10分
同同同同	富同同	番	番	良	良	良	良	良	ナシ	輕中	易	男女	10分
同同同同	腕同同	番	番	良	良	良	良	良	ナシ	輕中	易	男女	10分
同同同同	金貨印	番	番	良	良	良	良	良	ナシ	輕中	易	男女	10分
同同同同	本式	番	番	良	良	良	良	良	ナシ	輕中	易	男女	10分
同同同同	北式	番	番	良	良	良	良	良	ナシ	輕中	易	男女	10分
同同同同	宗式	番	番	良	良	良	良	良	ナシ	輕中	易	男女	10分
同同同同	原同同	番	番	良	良	良	良	良	ナシ	輕中	易	男女	10分
同同同同	州式	番	番	良	良	良	良	良	ナシ	輕中	易	男女	10分
同同同同	九部式	番	番	良	良	良	良	良	ナシ	輕中	易	男女	10分
同同同同	同川式	番	番	良	良	良	良	良	ナシ	輕中	易	男女	10分

備考 龍部式中川式ハ整地用除草器ナリ

試行	試行地	試行日	試行者	試行機	試行結果	備考
1	...	...	...	...	...	...
2	...	...	...	...	...	...
3	...	...	...	...	...	...
4	...	...	...	...	...	...
5	...	...	...	...	...	...
6	...	...	...	...	...	...
7	...	...	...	...	...	...
8	...	...	...	...	...	...
9	...	...	...	...	...	...
10	...	...	...	...	...	...
11	...	...	...	...	...	...
12	...	...	...	...	...	...
13	...	...	...	...	...	...
14	...	...	...	...	...	...
15	...	...	...	...	...	...
16	...	...	...	...	...	...
17	...	...	...	...	...	...
18	...	...	...	...	...	...
19	...	...	...	...	...	...
20	...	...	...	...	...	...
21	...	...	...	...	...	...
22	...	...	...	...	...	...
23	...	...	...	...	...	...
24	...	...	...	...	...	...
25	...	...	...	...	...	...
26	...	...	...	...	...	...
27	...	...	...	...	...	...
28	...	...	...	...	...	...
29	...	...	...	...	...	...
30	...	...	...	...	...	...

五 鑑定試験ノ結果

鑑定試験ノ結果適當ナリト認メタル水田中耕除草器 (出品者ノいろは順)

- ミノル式大王印中耕除草器
- 明王印中耕除草器
- ハラムネ式山口號中耕除草器
- 富國式除草器
- 本庄式作樂號除草器
- 腕金貨印中耕除草器
- 特許高北式コニカル除草器大型
- 松本式中耕除草器一本柄型

六 出品物ニ對スル概評

- ミノル式大王印中耕除草器  
機構竝ニ實地使用上良好ト認ム。
- 明王印中耕除草器  
機構竝ニ實地使用上ヨリ見テ良好ト認ム。
- 松本式中耕除草器一本柄型

機構竝ニ實地使用上ヨリ見テ良好ト認ム。  
 富國式除草器  
 機構竝ニ實地使用上ヨリ見テ良好ト認ム。  
 腕金貨印中耕除草器  
 機構堅牢ニシテ實地使用上普通ト認ム。  
 本庄式作樂號除草器  
 機構堅牢ナレドモ實地使用ニ際シ稍重キ憾アリ。  
 特許高北式コニカル除草器大型  
 機構堅牢ニシテ合理的ナルモ實地使用ニ際シ幾分安定ヲ缺クノ嫌ヒアリ。「コニカル」ノ部ニ更ニ一段ノ改良ヲ要スルモノ如シ。  
 ハラムネ式山口號中耕除草器  
 使用容易ナレドモ機構脆弱ノ憾アリ。  
 九州號人力用除草器  
 實地使用上土塊ノ反轉良好ナレドモ柄短ク且ツ高キ爲土ノ抵抗重ク使用ニ困難ヲ感ジ又機構脆弱ノ嫌アリ。  
 置部式伸縮自由除草器  
 機構竝ニ實地使用上普通ト認ム。  
 中川式除草専用器  
 機構ニ相當ノ考慮ヲ拂フト雖モ實地使用ニ際シ困難ノ嫌アリ。

### 第二 藁打機鑑定試験成績

#### (一) 人力藁打機

##### 一 出品物

名	稱	價 格 (工場渡し)	住 所	氏 名
久保式溝附ロール藁早打機		一八〇〇	石川縣七尾驛前通	久保久次郎
福々藁打機		一四〇〇	川口市八九〇	田原製作所
光次式藁打機		一五〇〇	福岡縣三潁郡大潁村	光次式製荏吹機工場
文明式藁打機		一五五〇	鹿兒市樋口町	板倉信藏
國益式三本ロール藁打機	(熊本渡し)	二七〇〇	熊本市花畑町八一ノ七	岩倉代次郎
前田式藁早打機		一五〇〇	熊本縣玉名郡伊倉町	前田農機製作所

#### 二 供試材料

藁ノ品種 旭一號  
 收穫年度 昭和九年  
 産地 熊本縣立農事試驗場



藁ノ性狀  
 乾燥ノ良否 良  
 程 長 三・三尺  
 程 徑 一・七分  
 除袴ノ程度 刈取ノ儘ニテ除袴ヲ行ハズ  
 スグリ藁歩合 七〇%  
 病 蟲 害 ナシ  
 莖ノ強弱 中  
 一束ノ重量 五〇〇匁内外

### 三 試驗方法

豫メ供試人夫ヲシテ供試機各機ニ付キ十分練習セシメ然ル後實地使用試驗ヲ施行セリ。

供試機ノ種類 人力用藁打機  
 供試材料 藁  
 供試人夫 男一人  
 供試人夫熟練程度 熟練  
 試驗區別  
 一、「バラ」ニテ藁打シタル場合  
 二、小束ニ結束シテ藁打シタル場合

供試量 三貫匁  
 一貫匁  
 添加水分量 ナシ  
 一回ノ打藁重量 一、二〇匁内外  
 一〇〇匁  
 打藁回数 往復七回  
 結束直シ回数 中途一回  
 藁打程度 機械製繩用ノ藁打柔軟程度  
 試驗回数 三回

試驗期日 昭和十年十一月七日ヨリ十一月十七日迄

試驗ニ當リテハ豫メ供試人夫ヲシテ供試機各機ノ「ロール」抑壓用「スプリング」調節器ヲ極ク弱少ナル程度ニ調節セシメ各機「スプリング」抑壓度ノ強弱ニ依ル試驗誤差ヲ極少範圍ニ止ムルト同時ニ各機特有ノ職能ヲ十分ニ發揮セシメタリ。又折疊式ノモノニアリテハ供試人夫ニ最適ノ高サニ調節セシメ之ヲ緊縮シタリ。

### 四 試験成績

一、「バラ」ニテ薬打シタル場合

名 稱	毎分平均 ロール回数	所要時間	仕上打薬 重量	薬層重量	打薬品質	硬化遅速	打薬歩留り
久保式	五	五分 四・六七	四・六七	六・三	良	遅	六・三
福次々式	五	六・〇九	四・〇三	六・九	良	速	六・六
光次式	五	五・七	四・三三	六・三	良	速	六・六
文明式	三	五・〇二	四・三三	五・九	中	速	六・六
國益式	三	五・四三	四・四三	五・七	中	中	六・六
前田式	五	五・五	四・三三	七・六	良	遅	六・六

備考 供試量五貫

二、小東ニ結束シテ薬打シタル場合

名 稱	所要時間	仕上打薬重量	薬層重量	打薬歩留り
久保式	二・五 二・五	八・七	二・九	八・七
福次々式	二・八	八・六	二・七	八・四
光次式	二・七	八・九	二・五	八・八
文明式	二・〇九	八・七	二・〇	八・七
國益式	二・六	八・七	二・六	八・七
前田式	二・三	八・六	二・六	八・六

備考 供試量一貫。打薬品質打薬硬化ノ遅速ニ關シテハ前表同様

### 五 鑑定試験ノ結果

鑑定試験ノ結果適當ナリト認メタル薬打機 (出品者ノいろは順)

- 國益式三本ロール薬打機
- 文明式薬打機
- 福々薬打機
- 久保式溝附ロール薬打機
- 前田式薬打機
- 光次式薬打機

### 六 出品物ニ對スル概評

一、總 評

供試機ノ構造ガ打薬品質ニ及ボス影響ヲ左ノ項目ニ別ケ記述セン。

一、「ロール」啗合「ギヤ」ノ有無

供試機中文明式、國益式、之ヲ缺キ其他ハ之ヲ具備セリ。啗合「ギヤ」無キモノハ一回ノ打薬重ノ増加並ニ打薬柔軟度ノ進ムニ隨ヒ、又「ロール」抑應用「スプリング」ヲ縮ムルニ隨ヒ薬ト「ロール」トノ間ノ滑リヲ増大スルモ機械製繩製莖及ビ製吹等ノ如キ材料ヲ薬打スル場合ニハ何等ノ支障ナキモノノ如ク該装置ヲ缺ク丈ケ運轉輕快ナリ。

二、「ロール」ノ形状

「ロール」波狀溝又ハ山大ナレバ大ナル程打能率大ナリ。又「ロール」波狀溝又ハ山小ナル程打能率ノ硬化無キモノノ如シ。

コノ兩點ヲ具備スルモノニ久保式、前田式アリ。波狀山大ナルモノニ福々、文明式、光次式アリ。山小ナルモノニ國益式アリ。

二、出品物別概評

久保式溝ロール附葉打機

機構竝ニ實地使用上良好ト認ムルモ「バラ」ニテ葉打スルニハ不適當ナルモノノ如シ。

福々葉打機

機構竝ニ實地使用上ヨリ比較的良好ト認ムルモ「ロール」形状ニ於テ更ニ改良ノ餘地アルモノノ如シ。又「バラ」ニテ葉打スルニ不適當ナルモノノ如シ。

光次式葉打機

機構竝ニ實地使用上比較的良好ト認ムルモ「ロール」ノ形状ニ更ニ改良ノ餘地アルモノノ如シ。然レドモ之ガ使用ニ際シ「バラ」打小束打共ニ適スルハ優點ナルベシ。

文明式葉打機

機構良好運轉輕快ナレドモ使用ニ際シ「ロール」ノ滑リヲ免レズ「バラ」ノ状態ノ葉打ニ適スルモノノ如シ。

國益式三本「ロール」葉打機

機構堅牢ニシテ葉受盤自動遊動裝置トナリ使用輕快改良進步ノ跡顯著ナルモ打葉柔軟度進ムニ從ヒ時ニハ葉「ロール」

前田式葉打機

ニ卷キ附ク缺點アリ。且ツ價格高キハ此ノ種機械トシテ農家ノ個人使用ニハ不相應ナルモノノ如シ。

「ロール」ノ形状合理的ナルハ優點ナルモ、葉受盤ノ「トタン」ノ張り方粗漏ニシテ而モ臺枠ノ安定ヲ缺ク嫌アリ、此等ノ諸點ヲ改良セバ相當ノ優良機トナラン。

(二) 動力葉打機

一 出品物

名	住	所	氏	名
國益式六本ロール葉打機	藤本市花畑町八一ノ七		岩倉	代次郎

二 供試材料

人力葉打機ト同様

三 試験方法

豫メ供試人夫ヲシテ供試機ニ付テ十分練習セシメ、而ル後實地使用試験ヲ施行セリ。

試験期日 昭和十年十一月三十日「天候晴」

供試量 葉十貫匁

供試人夫 男一人  
 電動機 日立式二馬力モーター  
 ロール一分間回転數 八〇回  
 一回ノ打葉量 「バラ」打ニテ約二〇〇匁内外  
 其ノ他諸條件人力葉打機試験ノ場合ト同ジ。

### 四 試験成績

所要時間 三四・四〇分	仕上打葉重量 八・七二五匁	葉層重量 一・八〇匁	打葉品質 良	硬化ノ遲速 遲	打葉歩留リ 八七・二五%
----------------	------------------	---------------	-----------	------------	-----------------

### 五 鑑定試験ノ結果

鑑定試験ノ結果適當ナリト認メタル動力葉打機。  
 國益式六本ロール葉打機

### 六 出品物ニ對スル概評

該機ハ其ノ構造人力三本「ロール」葉打機ト殆ド同様ニシテ「ロール」ヲ六本トナシテ動力用ニ變形セシメシナリ。

動力用ナル爲メ「ロール」ト葉ノ滑リヲ防グ爲「ロール」啗合「ギヤ」ヲ具備シ機構堅牢運轉輕快ナリ。  
 此ノ種機械ノ比較機無キ爲正確ナル判斷ヲ下ス能ハザルモ以上ノ成績竝ニ機構上普通ト認ム。

### 第三 製荳機鑑定試驗成績

名	稱	價格		住	所	氏	名
		(工場渡シ)	價				
高田式製荳機		三三〇〇		熊本縣飽託郡藤宮村		高田	分水
文明式製荳機		一七〇〇		鹿兒島市樋口町電車通		板倉	信藏
光次式製荳機		一六〇〇		福岡縣三潞郡大溝村		光次式製荳機工場	
野口式製荳機		一五〇〇		佐賀縣佐賀郡本庄村		野口	宇八
澤田式製荳機		一七〇〇		熊本縣飽託郡藤宮村		澤田	和一
平田式製荳機		二〇〇〇		鹿兒島縣肝屬郡高山町		前原	仲吾
大友式製荳機		二〇〇〇		鹿兒島縣給良郡清生町		酒匂	景利
中川式製荳機		二〇〇〇		鹿兒島縣肝屬郡高山町		中川	玉五郎
古賀式製荳機		一七〇〇		福岡縣三潞郡濱武村		古賀	初二
原田式製荳機		一八五〇		山口縣熊毛郡光井村		原田	良作
藤森式自動耳組製荳機		一五〇〇		大分縣玖珠郡東飯田村		佐藤	定作
農友式自動耳組製荳機		三三〇〇		熊本縣玉名郡木葉村		東製	作所

### 二 供試材料

荳ノ品種	旭一號
收穫年度	昭和九年
產地	熊本縣上益城郡大島村
荳ノ性状	良好
乾燥程度	良好
程長	三・一七尺
程徑	一・七分
荳ノ品質	中

### 三 試驗方法

豫メ供試人夫ヲシテ供試機各機ニ付キ十分練習セシメ然ル後實地使用試驗ヲ施行セリ。

試驗期日 第一回昭和十年七月一日ヨリ七月三十一日迄

第二回昭和十年九月二十一日ヨリ十月二十日迄

供試機ノ種類 人力製荳機

供試材料 荳

供試人夫 女一人

名	農藤	原古	中大	平	澤野	光文	高	名
稱	式式	式式	式式	式式	式式	式式	式式	稱
長	六六〇〇	五五〇〇	六六〇〇	六六〇〇	六六〇〇	六六〇〇	六六〇〇	重挿入量
幅	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	均一分間平均足踏數
耳一組尺數	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	縫掛時間
回縱切數	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	縫上時間
縱切數	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	時取外間
耳組ノ整否	中上	上上上上上上	上上上上上上	上上上上上上	上上上上上上	上上上上上上	上上上上上上	總時間
地合ノ整否	中上	中中中上上上	中中中上上上	中中中上上上	中中中上上上	中中中上上上	中中中上上上	縫分裝置
靴ノ長短	長長	中短中中短	中短中中短	中短中中短	中短中中短	中短中中短	中短中中短	縫分裝置
靴ノ品質	中上	中中中上上上	中中中上上上	中中中上上上	中中中上上上	中中中上上上	中中中上上上	重織落量
								乾燥落量
								切落重量
								重仕上量

四 試驗成績

供試人夫熟練ノ程度 熟練

蓮ノ種類 一枚蓮(大約長サ六尺、幅三尺)

試驗ノ回数 一機ニ付一日五回(一枚蓮五枚)

供試材料 使用方法供試葉ニ適量ノ水分ヲ添加吸收セシメ程ヲ膨軟ナラシメ然ル後之ヲ使用ス

供試量 一回ニ付キ蓮一枚分(乾燥葉約七〇〇勿乃至一貫匁内外)

試驗ニ當リテハ豫メ供試人夫ヲシテ供試機各機ニ付キ充分練習セシメ實地使用試驗ニ當リテハ型式ノ異ナルニ隨ヒ更ニ前日熟練セシメ可及的技術上ノ人爲的誤差ヲ少カラシメタリ。

尙ホ第一回試驗期日夏期ニ遭遇シ炎暑ノ爲メ午前、午後ノ差異ニ依リ供試人夫疲勞ノ程度ヲ異ニスルヲ以テ一機ニ付一日功程試驗ヲ行ヒ更ニ秋期ヲ選ビテ第二回試驗ヲ施行シ試驗期日天候ノ差異ニ依ル成績ノ誤差ヲ補ヒタリ。

而シテ試驗ニ際シテハ豫備試驗ノ結果最良ノ調子ニ調整シ又供試機中箆ノ可動式ノモノニアリテハ之ガ使用ニ當リ手ヲ添ヘシメテ施行セリ。

### 五 鑑定試験ノ結果

鑑定試験ノ結果適當ナリト認メタル製苧機

- 文明式製苧機
- 原田式製苧機
- 高田式製苧機
- 中川式製苧機
- 野口式製苧機
- 平田式製苧機
- 古賀式製苧機
- 澤田式製苧機
- 大友式製苧機
- 光次式製苧機

### 六 出品物ニ對スル概評

#### 一、總評

構造調査竝ニ實地使用試験ノ成績ニ依リ左記要項ニ別チ概評ヲ試ムレバ次ノ如シ。

#### (イ) 型式

製苧機使用上ヨリ分類シ片差型ト兩差型ト二種アリ。片差型ハ機正面三分ノ一右或ハ左ニ位置シ一方ヨリ葉ヲ挿入シ製織スルモノニシテ、兩差型ハ機ノ正面中央ニ位置シ左右兩方ヨリ交互ニ葉ヲ挿入シ製織スルモノナリ。随ツテ踏板ノ取付位置及緯挿ノ形狀モ之ニ從ヒ異ナレリ。

兩者ノ利害得失ニ付テハ使用者ノ手足ノ働キ左右著シク異ル者アルト、片差型ノ普及早カリシ爲メ技術既修得者ト未修得者ノ如何ニ依リ之ヲ一概ニ論ズル事能ハザルモ片差型ハ緯葉挿入ニ際シカヲ多ク要シ且ツ葉ノ性狀稍惡キ場合ハ中途ニテ切斷サルル虞アリ。又緯挿先端、葉挿入裝置ニ回轉獨樂金具ヲ要シ摩擦ヲ大ナラシメ緯挿重キ缺點アリ。兩差型ハ上述ノ缺點ヲ除キ緯挿輕快ナレドモ、緯葉挿入ニ際シ左右何レカ一方緯挿先端引込金具不明瞭ニシテ作業ニ難澁ヲ感ズル嫌アリ。供試機中、高田式、文明式、藤森式ハ片差型ニシテ他ハ總テ兩差型ナリ。

#### (ロ) 綾分裝置

供試機中綾分裝置ヲ其ノ構造竝ニ作用上ヨリ分チ(一)燕返シ(二)スプリング附鎖返シ(三)分銅重錘返シ(四)スプリング返シ(五)回轉返シノ五種ニ大別シ得、實地使用ニ當リ「燕返シ」ハ構造簡單作用確實ニシテ其他ハ幾分ノ故障アルカ或ハ返リ方不十分ナル場合無キヤノ懸念ヲ抱カシメタリ。

供試機中「燕返シ」ニ屬スルモノ高田式、文明式、光次式、野口式、澤田式、平田式、原田式及ヒ藤森式アリ。就中平田式ハ其形大ニシテ原田式ハ「スプリング」ヲ附シ幾分其ノ構造ヲ變ジタリ。「スプリング」ハ大友式アリ。「スプリング」ノ調子ニ注意ヲ要ス。「分銅重錘返シ」ニ中川式アリ。構造簡單ナルモ分銅左右往復誘導裝置ニ分銅密着シ返リ方不十分ナル場合ヲ生ズル嫌アリ。「スプリング返シ」ニ古賀式アリ。構造簡單調子良好ナリキ。「回轉返シ」ニ農友式アリ構造複雜精緻ニシテ改良進歩ノ跡ヲ見ルモ急激ナル運動ノ爲メ一部ニ故障ヲ生ジ遂ニ使用不可能トナリタリ。

#### (ハ) 箆

之ヲ大別シテ可動式ト不動式トアリ。供試機中、平田式、大友式、中川式、農友式ハ之ニ屬シ他ハ全部後者ニ屬シタリ。可動式ハ使用ニ際シ箒ヲ左右交互ニ手ニテ抑ヘ蒔ノ地合ヲ均一ナラシムル爲メニシテ合理的ナルモ之ガ爲メ幾分能率ヲ低下スル嫌アリ。而シテ此ノ式ハ兩差型ニ用ヒラルル事勿論ナリ。不動式ハ蒔ノ中央密ニシテ兩端ノ地合幾分疎ナルヲ免カレザルモ箒ノ重量ト落下ノ長サヲ大ニシテ之ヲ補ヒ腕ノ長サヲ大ニスル事ニ依リ足ニ感ズル重ミヲ輕減スレバ能率大ニシテ運轉使用輕快ナラン。

(ニ) 箒 鋤

之ヲ大別シ丸棒型ト平板型トアリ。供試機中澤田式、藤森式ハ後者ニ屬シ他ハ全部前者ナリ。丸棒型ハ縱繩ヲ切斷又ハ毛羽立テヲ行フ虞少キモ緯葉壓入ニ際シ力ヲ均一分布セシメサル缺點アリ。平板型ハ縱繩切斷又ハ毛羽立テノ虞多キモ緯葉壓入ヲ均一ナラシムルノ利アリ。何レモ一長一短ナルモ概シテ丸棒型ノ方幾分有利ナルカ。

(ホ) 緯 挿

之ヲ大別シテ片差用ト兩差用トアリ。乾燥良好ニシテ永久ニ眞直ニシテ歪曲ヲ生ゼザルヲ良トス。極ク少シノ歪曲アリテモ緯挿箱内ノ往復運動ニ際シ甚ダシク摩擦抵抗ヲ生ジ、之ガ爲メニ使用ニ當リ調子合ハズ大イニ影響スルハ固ヨリ或ハ縱繩ヲ切斷シ或ハ縱繩ニ引懸リ、之ガ爲メ使用不可能ニ陥ル事アリ。供試機中澤田式ハ乾燥不十分ナル爲メ歪曲ヲ生ジ縱繩ヲ切斷シ大イニ能率ヲ低下シタリ。

(ハ) 自動耳組裝置

供試機中該裝置ヲ具備スルモノニ藤森式、農友式アリ。藤森式ハ構造簡單ニシテ要ヲ得比較的良好ナルモ實地使用ニ當リ能率低キヲ遺憾トス。農友式ハ構造ニ相當ノ考案ヲ計ルト雖モ複雑ニシテ却ツテ故障多ク未ダ改良ノ餘地多々アリ。

之ヲ要スルニ葉ノ如キ性狀雜多ナル材料ヲ用フル此ノ種機械ニハ該裝置ハ却ツテ煩ニシテ效少キノ憾アリ。以上機ヲ各部ノ構造ニ分チ記述セシガ更ニ供試機中、箒、踏板、綾分裝置竝ニ之等ノ傳達裝置ノ如キ絶エズ激動スル部分ノ關節ニ「ボルト」及ビ「ナット」ヲ使用シタルモノヲ二、三見受ケラレタルガ使用中「ナット」弛ミ遂ニ「ボルト」抜ケ落チ運轉ヲ中途ニテ止メ之ガ修繕ヲ餘儀ナクセシメラレタリ。却ツテ簡單ナル木製又ハ鐵製ノ棒釘ニ「割ピン」ヲ使用スルカ又ハ二寸釘ヲ曲ゲテ使用シタルモノノ方更ニ安全ナリ。徒ラニ外見ニトラハレ實用ニ適セザルモノアリタルヲ遺憾トス。

二、出品物別概評

次ニ各機ニ就キ簡單ナル概評ヲ試ミン

高田式製蒔機

文明式製蒔機

兩者ハ機構大同小異ニシテ堅牢且實地使用容易、厚蒔用トシテ頗ル良好ト認ム。

光次式製蒔機

野口式製蒔機

兩者共機構堅牢使用輕快ニシテ良好ト認ム。特ニ薄蒔用ニ適スルモノノ如シ。

澤田式製蒔機

機構堅牢且良好ニシテ厚蒔用ノ良機ナレドモ供試機乾燥不十分ナル爲メ各部ニ歪曲ヲ生ジ十分其ノ機能ヲ發揮セザリシヲ遺憾トス。

平田式製蒔機

大友式製蒔機



中川式製筵機

三者共ニ機構堅牢ニシテ筵ハ可動式ヲ使用シ厚筵用ノ此ノ種機械トシテ比較的良好ト認ム。

古賀式製筵機

構造簡單ニシテ要ヲ得筵ノ部ヲ總テ鐵製ニシタル爲メ幾分使用ニ際シ重キ感アリ。薄筵用トシテ比較的良好ト認ム。

原田式製筵機

機構脆弱ノ憾アリ。機高低キ爲メ繩掛用中間軸ヲ機體後方ニ設ケ之ガ爲メ却ツテ繩掛ケニ際シ難澁ヲ感ズルト共ニ筵、緯挿ノ位置低キニ失シ大人ノ使用ニハ不向キナルモノノ如シ。

藤森式自動耳組製筵機

構造簡單ニシテ要ヲ得合理的ナレドモ自動耳組装置無キ此ノ種機械ヨリ能率低キヲ遺憾トス。

農友式自動耳組製筵機

機構複雜ニシテ故障多ク自動耳組用配繩裝置ニ缺點アリ。改良ノ餘地多クアルヲ認ム。

第四 製繩機鑑定試驗成績

(一) 人力製繩機

一 出 品 物

(二) 卷 取 型

一、毛 切 附

名 稱 (價格 (工場渡))

住 所

氏 名

名 稱	(價格 (工場渡))	住 所	氏 名
國益式製繩機新興號	二七〇〇	大分縣大分郡高田村	中 川 元
文明式高級髯切仕上附製繩機	三〇〇〇	鹿児島市樋口町	板 倉 信 藏
本 庄 式 製 繩 機	二二〇〇	東京市葛飾區堀切町八二	本 庄 商 會
仲 田 式 製 繩 機	—	名古屋市西區西柳町	仲 田 商 會
日の出式改良仕上附製繩機	二五〇〇	熊本市花畑町八一	岩 倉 代 次 郎
新明王號製繩機自動毛切仕上附	三三〇〇	熊本市北千反畑町	岩 倉 賢 次 郎
報國式天下一毛切附製繩機	二二〇〇	京都市福知山町内記五丁目	芦 田 本 店
(二、毛 切 無シ)			
豐國式光輝號製繩機	一七〇〇	東京市荒川區千住町二丁目二七	綿 引 仁 一 郎
宮 崎 式 製 繩 機	一〇〇〇	佐賀市唐人町一五〇	宮 崎 林 三 郎

九州號小繩用製繩機 六〇〇 佐賀縣三養基郡基里村 原田商會

三、小繩專用 (一) 籠取型 一、毛切附 二五〇〇 福岡縣古賀驛前 松本旭工場

マツモト仕上機附製繩機 二三〇〇 熊本縣玉名郡伊倉町 前田農機製作所

前田式再製機附英式製繩機 四三〇〇 熊本縣玉名郡木葉驛前 東製作所

英式再製機附製繩機 二、毛切無シ 三〇〇 名古屋市中區牧野町村裏 鈴木商會

原式第二號製繩機 三〇〇 佐賀市紡績通 鈴木商會

英式完全製繩機 三〇〇 佐賀市紡績通 鈴木商會

### 二 供試材料

葉ノ品種 旭一號  
收穫年度 昭和九年  
產地 熊本縣上益城郡大島村  
葉ノ性狀 良好  
乾燥程度 長 二八七

程 徑 一六八

葉ノ品質 中

除袴ノ程度 普通  
「スグリ」葉歩合 約七〇%  
病蟲害 ナシ  
莖質ノ強弱 中

### 三 試驗方法

豫メ特定人夫ヲシテ供試機各機ニ就キ充分練習セシメ然ル後實地使用試驗ヲ施行セリ。

試驗期日 自昭和十年八月十五日至九月三十日

供試機ノ種類 人力用製繩機

供試材料 葉

除袴操作 ミノル式回轉脫穀ヲ使用シ之ヲ行ヘリ

葉打操作 文明式葉打機ヲ使用シ之ヲ行ヘリ

結束操作 小束ニ結束シ大久保式葉切器ヲ以テ根元ヲ約五分位切斷シ切口ヲ整ヘ一束重量六五乃至七〇  
ヌトシタリ。

供試量 除袴葉打迄ノ操作ヲ行ヒタル儘ノ葉三貫匁(小繩專用機ニ對シテハ一貫匁)

試驗區別

卷取型 毛切無シ 毛切附  
 毛切無シ 毛切附  
 小繩專用

喇叭口葉挿入本數 約四本（小繩専用約一本）  
 繩ノ種類 俵裝用繩（小繩専用ヲ除ク）  
 繩ノ太サ 約四分（小繩専用ニ對シテハ約二分）  
 繩ノ燃數 一尺間約十七（小繩専用機ハ約二十二）  
 供試人夫 男一人  
 供試人夫熟練ノ程度 熟練  
 試驗回数 五回

試驗ニ當リテハ豫メ特定人夫ヲシテ特定機各機ニ付キ繩ノ太サ約四分燃數一尺間十七位ノ製繩ヲナシ得ル様齒車、喇叭管、合燃管等各部ヲ取換ヘ調節セシメ各機ニ付キ數回宛熟練セシムルト同時ニ廻轉部ニハ十分注油ヲ行ヒ齒車等ニ附着セル錆止用エナメルヲ殆ド除去シ運轉輕快ナル状態トナシ其ノ後二回ノ豫備試驗ヲ行ヒ各機最良ノ調子ニテ之ヲ使用シタリ。尙卷取太鼓又ハ籠小ニシテ一回ノ供試量丈ケ收容出來ザルモノハ中途ニテ一回之ヲ取換ヘテ試驗ヲ續行セリ。

### 四 試驗成績

名	稱	全挿入量	重量	回数	足踏數	每分燃數	每分供給本數	每分供給回数	準備時間	正味時間	時取	間外	時總	所要	重産	量繩	歩留	仕上	ノ生	長	徑平	均直	平一	尺産	均間	品繩	質ノ	斷繩	ノ中	數解	重重	重毛	量切
日仲本國	の田庄明益	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二
新報	明の	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二
豐國	州崎國	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二
宮崎	州崎國	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二
前田	式田モ	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二
英原	式(請川)	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二	二二二二

### 五 鑑定試驗ノ結果

鑑定試驗ノ結果適當ナリト認メタル製繩機  
 文明式高級髭切仕上附製繩機  
 本庄式製繩機  
 豐國式光輝號製繩機  
 仲田式製繩機

- 國益式製繩機新興號
- マツモト式仕上機附製繩機
- 前田式再製機附英式製繩機
- 報國式天下一毛切附製繩機
- 新明王號製繩機自動毛切仕上附
- 日の出式改良仕上附製繩機
- 英式完全製繩機
- 宮崎式製繩機
- 英式再製機附製繩機
- 原式第二號製繩機

### 六 出品物ニ對スル概評

#### 一、總 評

製繩機ニ卷取型、籠取型ノ二型式アリ。一般ニ卷取型ハ下撚リ上撚リ共ニ其ノ裝置ニ於テ機構機械的ニ完備スレドモ生産繩ハ手繩ニ比シ稍硬キ嫌アリ。籠取型ハ下撚リ疎ニシテ上撚リ精ナル裝置ヲ有シ生産繩柔軟ナルハ優點ナルモ下撚リ裝置ノ不完全ナル爲メ挿入藁ノ合撚リ不充分ナル場合アリ。又籠内ニ於ケル繩ノ卷取リニ際シ繼目ニ當リ繩ノ徑細キ時ハ動モスレバ籠内ニ繩立テテ遂ニハ繩道出口ニ於テ撚リヲ強メテ輪ヲ生ジ回轉中ノ齒車ニ切斷サル場合アリ。此ノ點卷取型ニ比シ其ノ機構甚ダ不完全ナルノ誹ヲ免レズ。而シテ籠取型ハ卷取型ニ比シ構造簡單ニシテ細繩ヨリ太繩ニ到ル迄相當廣範圍ノ繩ヲ

作り得而モ藁ノ性狀竝ニ打藁硬軟ノ如何ヲ問ハズ之ヲ製繩シ得レドモ使用ニ際シ相當ノ熟練ヲ要スル缺點アリ。卷取型ハ機構精緻ニシテ而モ使用容易ナルハ優點ナルモ藁ノ性狀惡シキガ打藁硬キニ失スル場合ハ片撚リニ於テ切斷サル虞レアリ。次ニ各機ニ付キ簡單ナル概評ヲ試ムレバ次ノ如シ。

#### (一) 卷 取 型

##### 一、毛 切 附

#### 國益式製繩機新興號

機構堅牢、材質良好、生産繩比較的柔軟、取扱容易ニシテ優良機ト認ムルモ繩ノ卷取強キ場合ハ取外シニ困難ヲ感ズル憾アリ。卷取太鼓軸ノ傾斜ヲ一層急ニスル要アルモノノ如シ。

#### 文明式高級髯切仕上附製繩機

機構堅牢ニシテ廻轉輕快ナル優良機ト認ムルモ生産繩稍硬キ憾アリ。藁挿入喇叭千枚羽子口緊締環ヲ改良セバ更ニ優良機トナラン。

#### 本庄式製繩機

機構堅牢材質良好ニシテ實地使用容易ナル良機ト認ム。

#### 仲田式製繩機

構造比較的簡單ニシテ使用輕快ナル實用的良機ト認ム。

#### 日の出式改良仕上附製繩機

#### 新明王號製繩機自動毛切仕上附

兩者共機構竝ニ實地使用上ヨリ見テ實用的ノ良機ト認ム。

報國式天下一毛切附製繩機

實地使用上實用的ノ良機ト認ムルモ毛切齒車上下燃リ齒車ニ直接連結シ之ガ使用ニ相當ノ注意ト技術ヲ要スル憾アリ。

二、毛切無シ

豐國式光輝號製繩機

機構竝ニ實地使用上ヨリ見テ實用的良機ト認ム。

宮崎式製繩機

機構簡單ニシテ要ヲ得大部分木製ニシテ異彩アルモ運轉中ニ騒音高ク「繩ベルト」ノ滑リヲ生ズル嫌アリ。徒ラニ舊套ヲ固守スルノ憾アリ。更ニ工學的考慮ヲ加エ改良セバ相當ノ優良機トナラン。

三、小繩專用

九州號小繩專用機

機構宮崎式ニ類似スレドモ脆弱ニシテ實地使用容易ナラザルノ憾アリ。

(二) 籠取型

一、毛切附

マツモト式仕上機附製繩機

機構竝ニ實地使用上此ノ種機械トシテ比較的良機ト認ム。

前田式再製機附英式製繩機

英式再製機附製繩機

兩者共大同小異ナレドモ實地使用ニ際シ後者ノ方幾分故障多カリキ。

二、毛切無シ

原式第二號製繩機

機構材質良好ニシテ此ノ種機械トシテ最モ改良進歩シタル良機ト認ム。

英式完全製繩機

機構竝ニ實地使用上普通ト認ム。

(二) 動力製繩機

一 出 品 物

名 稱	(價 格)	住 所	本 氏 名
本庄式動力用製繩機	二六〇〇	東京市葛飾區堀切町八二	本 庄 商 會
九州號人力動力兼用製繩機	一九〇〇	佐賀縣三養基郡基里村	原 田 商 會

二 供 試 材 料

人力製繩機鑑定試驗ト同様

三 試 驗 方 法

豫メ特定人夫ヲシテ供試機各機ニ付キ充分練習セシメ然ル後實地使用試驗ヲ施行セリ

試驗期日 自昭和十年十二月十日 至十二月十三日  
 供試量 三貫匁  
 供試人夫 男一人  
 電動機 日立式二馬力

供試機主軸一分間回轉數 一二〇回  
 喇叭口蓋挿入本數 五・五本

其ノ他ノ諸條件ハ人力用ノ場合ニ準セリ  
 原動機トシテハ日立二馬力電動機ヲ使用シ中間軸ヨリ動力ヲ傳達セシメタリ。而シテ供試機ノ調節ハ數回ノ豫備試驗ノ結果最良ト認メタル調子ニテ之ヲ施行セリ。

#### 四 試驗成績

名 稱	挿入蓋全重量	毎分回轉數	毎分供給本數	毎分供給回數	準備時間	正味時間	取外時間	總所要時間	生産繩量	繩仕上歩留リノ長さ	生産繩平均直徑	生産繩平均斷面積	繩ノ中殘屑重量	繩ノ毛量	切量
本庄式動力用九州號動力用	二・六〇〇	二〇〇	一三	一四	一・〇・四	五・三	一・三	一・〇・七	二・四六	九四・六五	一四・五	四・〇	一・〇	一四	二
九州號動力用	二・六〇〇	二〇〇	一三	一四	一・〇・四	五・三	一・三	一・〇・七	二・四六	九四・六五	一四・五	四・〇	一・〇	一四	二

#### 五 鑑定試驗ノ結果

鑑定試驗ノ結果適當ナリト認メタル動力製繩機

九州號人力動力兼用製繩機  
 本庄式動力用製繩機

#### 六 出品物ニ對スル概評

##### 本庄式動力用製繩機

投込式ニシテ機體ノ構造人力用ノモノト大イニ其ノ趣キヲ異ニシ製繩部ニ傾斜ヲ與ヘテ投込ニ便ニシ構造堅牢、材質良好ニシテ實地使用容易ナル優良機ト認ム。

##### 九州號人力動力兼用製繩機

調子良好ニシテ實地使用容易ナレドモ機構材質脆弱ニシテ長期ノ使用ニ耐ヘザルノ憾アリ。而シテ巻取太鼓木製枠ニ固定サレ繩取外シニ際シ巻返シノ要アリ。相當ノ時間ヲ要シ連續運轉ニ不便ナリ。

### 第五 製繩仕上機鑑定試験成績

#### 一 出品物

名	本庄式ツバメ號繩仕上機	價格	三〇〇〇 <small>(工場渡し)</small>	住	東京市葛飾區堀切町八二	所		氏		名		會	
---	-------------	----	----------------------------	---	-------------	---	--	---	--	---	--	---	--

#### 二 供試材料

供試繩ノ性狀	繩ノ太サ	一・八分
一尺間撚數		一八
繩ノ品質		中上
撚リノ整否		整
太サノ整否		整
硬軟ノ程度		稍硬
毛羽ノ多少		毛切無シ、機械繩トシテハ中

#### 三 試験方法

豫メ特定人夫ヲシテ供試機ニ付キ充分練習セシメ、然ル後實地使用試験ヲ施行セリ。

試験期 昭和十年十二月二十六日、二十七日

天候 晴

供試量 九州號動力用製繩機ヲ用ヒ製繩シタル俵裝用繩 七・四〇〇貫

原動機 日立式電動機三馬力

仕上機主軸毎分回轉數 一二四回

試験回数 三回

供試人 夫 男一人

供試人夫熟練ノ程度 熟練

原動機トシテ日立式三馬力電動機ヲ使用シ中間軸ヲ通ジテ動力ヲ傳達シ供試機主軸回轉數ヲ百二十四回トシタリ。

豫メ特定人夫ヲシテ繩ノ掛ケ方、締メ方、毛切裝置竝ニ柔軟「ロール」ノ調節等十分練習セシメ機體各部ニ充分注油ヲ行ヒ齒車等ニ附着スル錆止用「エナメル」等ヲ除去シ運轉輕快トナリタル後豫備試験ヲ施行セリ。

尙試験施行ニ當リ特定人夫一人ナル爲メ繩掛時間約一時間内外ヲ要スルヲ以テ豫メ繩掛ケヲ了シ其レニ供試繩ヲ連結シ試験ヲ施行セリ。

### 四 試驗成績

繩重	繩ノ長サ	繩ノ太サ	繩ノ撚數	繩ノ整否	硬軟ノ程度	毛羽ノ多少	毛切重量	毛切歩合	所要時間											
七・四〇	七・二五	六・六	四三・〇	四元・三	一〇・〇	一八・一	一七・七	九・三	一八	二七六	七・六	整	整	納硬	中	中	殆無	三五	三・四	二三

### 五 鑑定試驗ノ結果

鑑定試驗ノ結果適當ナリト認メタル製繩仕上機  
本庄式ツバサ號繩仕上機

### 六 概評

供試機一臺ニシテ比較標準機ナキ爲メ其ノ優劣ヲ論ズル事能ハザルヲ遺憾トスルモ、本機ノ繩誘導裝置ハ九個ノ誘導車ヲ  
兩端ニ設置シ、此ノ間ニ繩ヲ8字形ニ交ヘテ掛ケ、之ガ運轉ニ際シ繩ト繩トノ間ニ於テ充分毛羽立テ行ハシメ一方二個ノ  
柔軟「ロール」ヲ「カム」ヲ利用シテ左右ニ遊動セシメ繩ノ柔軟ヲ計リ、然後長サ四八吋ノ毛羽裝置ニ之ヲ通シ、該裝置先端  
ニ附着セシメタル撚戻シ裝置ニ依リ撚リ戻シヲ行ヒテ繩ヲ柔軟ナラシメツツ前記毛羽立テヲシタル繩ノ髭ヲ全部切斷シ、之  
ヲ巻取棒ニ送り巻取ヲ行ヒ巻取棒ノ取換ヘニ依リ連續運轉ヲ行フモノニシテ概シテ機構複雑、材質良好考案精緻ナレドモ實  
地使用ニ際シ相當ノ技術ヲ要ス。

### 第六 藁切機鑑定試驗成績

#### 一 出品物

(一) 自動繰出裝置付キノモノ

名	稱	價格	住	所	氏	名
大正式	大陽號藁切機	六・五〇	熊本縣上益城郡御船町		東	洋
永田式	藁切機	五・七〇	熊本市花畑町八一ノ七		岩	倉
大和式	藁切機	七・〇〇	熊本縣鹿野郡川尻町		大	和
八千把	號藁切機	八・五〇	熊本縣八代郡八千把村		上	野

(二) 押切型

名	稱	價格	住	所	氏	名
大久保式	藁切機	二・二〇	熊本縣鹿野郡河内村		大	久
九州號	手押藁切機	一・八〇	佐賀縣三養基郡基里村		原	田

#### 二 供試材料

乾燥程度 良好  
稈長 三・三尺



品 程 質 中 一・七分

### 三 試驗方法

豫メ特定人夫ヲシテ特定機各機ニ付キ十分練習セシメ、然ル後實地使用試驗ヲ施行セリ。

試驗日期 昭和十年十月二十五、二十六兩日間

天 候 晴

供試材料 葉

供試人夫 男一人

供試人夫熟練程度 熟練

試驗區別 (一) 自動繰出装置付キノモノ

(二) 押切型

供試量 (一) 自動繰出装置付キノモノ 三貫匁

(二) 押切型 一貫匁

試驗回数 三回

使用方法

自動繰出装置付

豫メ特定人夫ヲシテ各機ニ付キ供試葉ヲ五分ノ長サニ切裁スル様調節セシメ、使用ニ當ツテハ庖丁柄ヲ兩手ニテ握リ切裁スルヲ原則トシタリ。

押切型

豫メ特定人夫ヲシテ供試葉ヲ約五分ノ長サニ切裁スル様練習セシメタリ。

尙ホ實地試験ニ際シテハ兩者共豫備試験ノ結果最良ト認メタル調節ヲ採用シタリ。

### 四 試驗成績

(一) 自動繰出装置付

名 稱	每分切裁數	所要時間	切裁物品質
大永大 千和正 把 號式式式	六七七七 三三三二	八分 四分 七五〇分 四一九七	中上中上

(二) 押切型

名 稱	每分切裁數	所要時間	切裁物品質
大久保 州 號式	八六七 〇七	一分 〇〇分 〇〇秒 一二秒	中中

### 五 鑑定試驗ノ結果

鑑定試驗ノ結果適當ナリト認メタル葉切機 (出品者ノいろは順)

永田式 葉切機

大正式 葉切機

八千把號葉切機  
大和式葉切機

### 六 出品物ニ對スル概評

(一) 自動繰出裝置附

#### 大正式太陽號葉切機

機構竝ニ實地使用上ヨリ見テ良好ト認ム。

#### 永田式葉切機

機構堅牢、能率大ナレドモ切裁物品質ノ均一ヲ期シ難キ憾ミアリ。

#### 大和式葉切機

機構堅牢切裁物品質良好ナレドモ使用ノ途中ニ於テ庖丁往復溝ニ切葉ヲ挟ム憾アリ。

#### 八千把號葉切機

使用輕快ナレドモ切裁物繰出裝置複雜不備ニシテ能率ヲ減殺シ破損シ易キ憾アリ。

(二) 押切型

#### 大久保式葉切機

機構竝ニ使用簡易ナレドモ庖丁ノ利用長サニ不利ナル缺點アリ。

#### 九州號手押葉切機

機構簡單ナレドモ連續使用ニ際シカヲ多ク要スル嫌アリ。

昭和十一年三月二十八日印刷  
昭和十一年三月三十一日發行

## 農林省農務局

印刷者 東京市京橋區新富町一丁目七番地 石井精一郎  
印刷所 東京市京橋區新富町一丁目七番地 安信舍印刷所  
電話京橋(56)二四九四番

終

